

◇2025年 年頭所感



唐津港湾事務所長 橋本 順二

地域の期待に応える 港湾整備を目指して

新年あけましておめでとうございます。平素より国土交通行政、とりわけ港湾行政の推進、みなとの整備にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国土強靱化を推進すべく港湾整備を進めているところであります。さらに、唐津港と伊万里港などにおける地域経済の発展、豊かで活力ある地方づくりを進めてまいります。

唐津港では、国内貨物の輸送効率化と大規模地震発生時の輸送拠点となる耐震強化岸壁等の整備、並びに予防保全型の老朽化対策として係留施設の改良工事を進めております。耐震強化岸壁は平成28年に供用を開始し外内貿易物の取扱いやクルーズ客船の寄港等に利用されるなど賑わいを見せているところです。引き続き

伊万里港では、臨港道路七ツ島線を整備供用し、港湾関係車両や国際コンテナ貨物など港湾関係物流の円滑化や周辺環境の改善へ寄与し評価を頂いているところです。現在整備を進めています老朽化した伊万里湾大橋の補修等メンテナンス事業を推進してまいります。

また、事業実施に際して、DXの導入推進による生産性の向上や工事における働き方改革の取り組みなど、担い手育成・確保につながる活動を建設業界の皆様と連携して推進していく所存です。

今後とも港湾に関するニーズをくみ上げ、地域の発展に貢献する港湾整備やみなと街づくりを目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして、良い年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のお慶びを申し上げます



九州技術事務所長 山下 尚

「3つの柱」の取り組みについて

新年明けましておめでとうございます。平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り

厚く御礼申し上げます。昨年は働き方改革関連法の一環として改正労働基準法が建設業に対しても施行され、時間外労働の上限規制が設けられました。今後においても建設現場における生産性向上の取り組みは、ますます重要となっております。

このような状況を鑑みまして、当事務所では、九州の建設分野の生産性向上を目指すべく、緊急調査など、噴火の安全な調査手法として無人航空機やAI技術を活用した観測技術の開発などに取り組んでまいります。

「建設技術の生産性向上」におきましては、「九州インフラDX人材育成センター」を令和3年に開設し、今後主流となる3D測量の体験や、新たに技術開発を行ったメタバースを活用した川づくりについて体験できる体制を構築しています。新技術・新工法については、登録受付・審査や関係者向けの説明会を引き続き実施し、九州における更なる普及・活用促進に取り組んでまいります。

「人材育成の推進」におきましては、若手職員を対象とした基礎技術講習会及び専門技術講習会に加え、平成27年度より無人化施工機械操縦者の育成を目的に無人化施工訓練に取り組みしております。火

山防災分野におきましては、全国の整備局職員に火山対策に関する研究成果を周知・展開するとともに、統一した手法で安全・確実に現地調査を行うための体制づくり・人材育成などを行っております。また、九州インフラDX人材育成センターでは、VR技術を活用した堤防や橋梁点検コンテンツを整備し、点検技術者の人材育成を図るとともに、将来、土木関係に携わる学生に向けて、より土木に関心をもってもらいたくためのさまざまなコンテンツを準備しております。なお、体験を希望される方は、当事務所ホームページより体験申し込みが可能です。

可能となっております。さらには、九州地方整備局職員及び自治体職員の皆様にも多くの研修を行い、地域の方々の期待に沿うように知識や技術力の向上を図っております。

今後とも、九州地方の繁栄と安全・安心確保のため、九州技術事務所、九州防災・火山技術センターの責務を全うし、更なる業務の充実に努めてまいります。また、佐賀県における河川、道路のインフラメンテナンスに寄与する取り組みについても充実・深化をしていきますので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

HINODE 日之出水道機器株式会社

Architect Building 総合建設業・鋼構造物工事業 株式会社 馬場製作所

九州営業所：福岡市博多区堅粕5-8-18 ヒノデビルディング6F

2025年10月3日(金)「TEAM EXPOパビリオン」でお会いしましょう!